

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
 気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

Information

参加者・演題募集中

看護技術

第1回・あーて塾

東北版講座 聴き・触れる

エキスパートへの道

総論編

申込期限 6月30日 / 宮城

受講者募集

日時：7月26日(土)・8月2日(土)・3日(日)・9月27日(土)・9月28日(日)

すべて9時30分～16時30分

*昼食持参のこと

会場：あーて東松島の家(宮城県東松島市)

目的：習熟した手のわざを身につけ、心から聴けるエキスパートを目指す

プログラム：(1日目)「あーて——その心とわざ——安楽性論と生活行動援助論」川嶋みどり

(2日目)「あーて推進協会理事長、日本赤十字看護大学名誉教授」

(2日目)「触れる・癒す・あいだをつなぐ手——タッピングタッチ」八木美智子(て・あーて推進協会、元神奈川県立病院附属看護専門学校校長)／「がん緩和ケアに活かす——あーて」小野寺綾子

(て・あーて推進協会、元神奈川県立がんセンター看護部長)

(3日目)「認知症高齢者の言葉聴く力」水野陽子(て・あーて推進協会、認知症看護認定看護師)

(4日目)「タッチングの技術——看護に活かすフットケア」今野康子(日本赤十字社医療センター、糖尿病看護認定看護師)

糖

〈5日目〉「タッチングの技術——看護に活かすハンドケア」板橋由紀(て・あーて推進協会、日本リラクゼーション協会認定セラピスト)／全体のまとめ(て・あーて推進協会理事)

参加費：(5日間)4万円
 (1日間)1万円
 定員：先着30名

参加資格：看護師
 申込方法：メールまたはファックスで①氏名、②所属、③連絡先(メール・電話・FAX・住所)を送付

申込期限：6月30日(月)16時
 問：あーて東松島の家(伊藤良子)

0225-90-4485
 te-ate@bz.t-com.ne.jp

認知症ケア
 認知症の人と家族への援助をすすめる
 第30回全国研究集会

事例応募期限 6月30日 / 青森
 日時：11月2日(日)9時30分～16時
 会場：青森市民ホール(青森県青森市)

テーマ：「生かされる」から「生きる」へ——本人・家族が尊厳をもって生きられる時代へ
 プログラム：講演「若年性認知症の人と家族とともに歩んで——神経内科医として」東海林幹夫(弘前大学大学院医学研究科脳神経内

科学講座教授)／事例発表／シンポジウム「若年性認知症の人を地域で支える」(シンポジスト予定：厚生労働省、介護支援専門員、地域包括支援センター、介護家族)／展示「全30回の歴史」(青森県支部の取り組み)「家族の会」各支部の取り組み「認知症ほっと3行レター」(介護機器紹介)「ブラス出演」
 参加費：2000円(資料代)
 【事例募集】
 内容：①介護保険制度の問題点、有用な制度にするための提案など／②本人・家族支援についての先駆的事例／③若年認知症者支援について
 条件：資格不問
 発表時間：口述15分程度
 応募方法：郵送またはメールにて表題、趣旨(1000字程度)、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を送付
 応募期限：6月30日(日)
 問：認知症の人と家族の会(櫻井・小川)
 〒602-8143
 京都府京都市上京区堀川通丸太町下る 京都社会福祉会館2階
 ☎075-811-8195
 FAX 075-811-8188
 office@alzheim.or.jp
 【認知症ほっと3行レター募集】
 内容：認知症に関わる出来事、心情を60字以内で表現
 募集部門：①認知症本人／②家族／③看護・介護者、認知症サポーター、一般
 応募方法：ハガキまたはホームページから、発表作品と部門、住所、氏名、年齢、性別、職業(学校名)、電話番号、匿名希望の有無を送付
 応募期限：7月31日(木)消印有効
 問：認知症の人と家族の会青森県支部(秋田谷・古戸)
 〒031-0841
 青森県八戸市鮫町字居合1-3
 ☎0178-35-0930
 ☎0178-34-0651
 http://aomori-alzheimer.jindo.com/

リスクマネジメント
 地域医療安全推進
 センター主催研修会
 7/8月/東京
 1. 医療安全・医療の質トッパ
 ネジメント研修
 日時：7月5日(土)
 会場：海運ビル(東京都千代田区) プログラム：説明と同意に関わるトラブルの未然防止——具体的事例で考える防止対策と職員教育／「クリニカルインディケータと医療の質——医療のアウトカム測定と評価」／病院内の自殺予防と事後対応——リスクの把握と対応のポイント／「不当要求から病院と職員を守る——マニュアル・チェックリストの活用」
 受講料：2万5000円

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2014
 vol.19 No.7 2014 訪問看護と介護 582
 2026/09/22 10:53:00

退院支援・管理者養成 全国訪問看護事業協会 研修

7/11月/東京

受講者募集

1. 退院支援看護士養成研修
病院と地域のスムーズな連携につく

日時：7月25日(金) 10時～17時
15分・26日(土) 9時～16時15分
会場：東京証券会館(東京都中央区)

対象：訪問看護ステーション管理者・従事者、病院・施設・地域で従事する看護師

定員：約120名

プログラム：①「目」退院調整とは「ケアマネジメント」と退院調整 院内チームと地域連携システムづくり②「退院調整看護師の役割と機能」篠田道子(日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科教授)「訪問看護が行なう退院調整」竹森志穂(元訪問看護ステーションしろかね所長)「退院調整が求められる背景——政策の動向」在宅医療・訪問看護の概要と活用方法③山田雅子(聖路加看護大学教授)

④「目」退院調整の実態と院内外のシステム構築——事例より宇都宮宏子(在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス)「退院調整のシステム構築・アクションプラン作成」グループワーク・アクションプラン発表・まとめ⑤上野桂子(聖隷福祉事業団監事/全

国訪問看護事業協会常務理事)・宇都宮宏子・竹森志穂・山田雅子
参加費：会員1万2000円
非会員2万円

2. 訪問看護管理者養成研修会
体系的に学ぶ管理者の役割

日時：

①期 9月18日(木)～20日(土)
②期 10月16日(木)～18日(土)
③期 11月13日(木)～15日(土)
会場：①期・②期 日本財団会議室(東京都港区)

③期 マツダ八重洲通ビルマツダホール(東京都中央区)

対象：通期で受講が可能で、訪問看護ステーション管理者経験2年以上の管理者、もしくは訪問看護新任管理者研修会修了の管理者経験1年以上の管理者

定員：約40名
プログラム：①「目」訪問看護制度論②「訪問看護を取り巻く制度と政策」訪問看護経営・経済論③「経理・財務の実態(経営に関する基本的技術)」訪問看護経営・経済論④「経営状態の把握・評価(経営に関する基本的技術)」運営管理総論⑤「管理者の制度的な位置づけと役割・機能」運営管理総論⑥「看護管理概論(看護管理に必要な知識体系、看護管理者の役割と活動)」運営管理総論⑦「リーダーシップ論」訪問看護マネジメント論⑧情報管理論⑨グループワーク「課題の整理・分析」⑩「期」実践的経営論⑪「マーケティング初級編」実践的経営論

⑫「ストラテジー初級編」実践的経営論⑬「経営マネジメント」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑭「効率的運営のためのマネジメントシステム」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑮「サービスの品質管理」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑯「リスクマネジメント①」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑰「リスクマネジメント②」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑱「訪問看護のリスクマネジメント」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑲「退院支援・退院調整」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑳「訪問看護管理技術論①」管理者の意思決定・マネジメントスキルのケースメソッド⑳「人材管理・育成論①」人材の確保⑳「人材管理・育成論②」職場環境づくりとモチベーション管理⑳「人材管理・育成論③」労務管理の基礎知識⑳「人材管理・育成論④」人材の育成⑳「人材管理・育成論⑤」他業種から学ぶ人材管理

②「ストラテジー初級編」実践的経営論③「経営マネジメント」訪問看護マネジメント論・情報管理論④「効率的運営のためのマネジメントシステム」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑤「サービスの品質管理」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑥「リスクマネジメント①」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑦「リスクマネジメント②」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑧「訪問看護のリスクマネジメント」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑨「退院支援・退院調整」訪問看護マネジメント論・情報管理論⑩「訪問看護管理技術論①」管理者の意思決定・マネジメントスキルのケースメソッド⑪「人材管理・育成論①」人材の確保⑫「人材管理・育成論②」職場環境づくりとモチベーション管理⑬「人材管理・育成論③」労務管理の基礎知識⑭「人材管理・育成論④」人材の育成⑮「人材管理・育成論⑤」他業種から学ぶ人材管理

※参加費に日本財団の助成あり
【以下共通】
申込方法：ホームページの申込書をFAX、または電話にて問い合わせ。

一般社団法人全国訪問看護事業協会事務局
03-3335-5898
03-3335-5938
http://www.zenhokan.or.jp/

2. 医療安全管理者養成研修Ⅰ

日時：7月24日(木)～26日(土)、8月29日(金)～31日(日)

※全6日間の受講必須

会場：都道府県会館 海運ビル(東京都千代田区)

プログラム：「医療安全施策の動向」医療安全の基礎的知識と医療安全管理者の業務②安全管理体制の構築と安全文化の醸成③「医療安全管理者の取り組みの実際」④施設における医療安全の課題⑤危機管理総論、医療事故発生時の対応、危機管理演習⑥情報収集、分析、対策立案、評価、フィードバック⑦RCA/HFMEA⑧「医療事故等の情報収集の意義と活用」⑨職員に対する医療安全教育企画⑩運営のポイント⑪「実践的医療安全トレーニングの実際」⑫個人情報保護に関する危機管理⑬「医療機関における苦情・クレーム対応」

受講料：6万2000円

3. 医療安全教育研修
日時：8月2日(土)・3日(日)

会場：海運ビル(東京都千代田区)

プログラム：「PRAトレーニングの概要と実際」PRAトレーニング演習、企画演習、総括②「MITTの概要と実際」MITT演習、企画演習、総括③「受講料：3万2000円」

申込方法：ホームページより

地域医療振興協会 地域医療安全推進センター

〒102-0009
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館15階
03-5212-9152
ryou-anzen@jadecom.or.jp
http://www.jadecom.or.jp/ryou-anzen/guide/index.php

摂食嚥下リハ
第20回日本摂食嚥下
リハビリテーション学会
学術大会
9月/東京

日時：9月6日(土)・7日(日)

会場：京王プラザホテル、新宿NSビル、ベルサール新宿セントラルパーク(東京都新宿区)

テーマ：食べる喜び、支える楽しさ——広がるチーム

プログラム：会長講演/招待講演/教育講演/シンポジウム/パネルディスカッション/一般演題(口演・ポスター)/交流集会/ランチオンセミナー/市民公開講座(ホテルでの嚥下調整食ランチ・要事前申込)

1. JSDR 20周年記念国際摂食嚥下シンポジウム
日時：9月5日(金)

会場：京王プラザホテル(東京都新宿区)

2. 有料セミナー
日時：9月7日(日) 17時～19時
※要事前申込

【以下共通】

【第20回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会運営事務局】
〒461-0004
名古屋市中区葵3-12-7
オ
フィステイクワン内
☎052-9300-6145
FAX 052-9300-6146

✉jsd2014@cs-oto.com

http://www.cs-oto.com/
jsd2014/

がん患者サポーター がん治療と暮らし サポーター研修 第1期集中講座

9~11月/大阪

受講者募集

日時：(Aカリキュラム)9月6日
(土)・7日(日)
(Bカリキュラム)11月1日(土)・
2日(日)

会場：田附興風会医学研究所北
野病院 セミナーホール(大阪府
大阪市)

プログラム：(Aカリキュラム1
日目)「暮らしを支える」竹田寛桑
名市総合医療センター理事長／
「患者の立場に立って理解する」
——痛みの例に「安井久晃(京都
医療センター 腫瘍内科診療科長)
／「セルフマネジメントを支える」
山田みつぎ(千葉県がんセンター
通院化学療法室看護師長) がん看
護専門看護師 がん化学療法看護
認定看護師)／「感染から自分を守る」
辻村秀樹(千葉県がんセンター

外来化学療法科部長)／「OOL
(暮らしの質)を支える口腔ケア」
山田みつぎ／「元気を支える容貌
ケア(実技あり)」有働みどり(大
阪警察病院看護師長) がん化学療
法看護認定看護師)・山崎多賀子
(美容ジャーナリスト、乳がん体
験者)

(Aカリキュラム2日目)「社会資
源を活用する」村田庄司(北野病
院事務部長)／「暮らしと運動習
慣」小松泰喜(東京工科大学医療
保健学部理学療法学科教授)／「よ
りよく食べる」岩田加壽子(三重
大学医学部附属病院病院長顧問・
丹羽真清(デリカフーズ株式
会社代表取締役)

(Bカリキュラム1日目)「患者さ
んを支える者としての構え」藤井
信吾(北野病院院長、京都大学名
誉教授)／「情報を、適切に探す」
小林隆志(鳥取県立図書館支援協
力課課長)／「家族との関係を再構
築する」田中登美(兵庫医療大学
看護学部准教授、がん看護専門看
護師)／「リンパ浮腫ケアで少しで
も快適に(実技あり)」田中登美・
佐藤佳代子(後藤学園附属リッパ
浮腫研究所所長)／「一人ひとりの
妊娠・出産」鈴木直(聖マリアン
ナ医科大学産婦人科学教室教授)
／「OOL(暮らしの質)を支える
スキンケア」山崎直也(国立がん
研究センター中央病院皮膚科医
長)
(Bカリキュラム2日目)「がん治
療と働くこと」荒木葉子(荒木芳

訪問看護入門、精神科訪問看護はか 日本訪問看護財団研修

8~9月/全国

受講者募集

1. 訪問看護基礎講座

伝えます、訪問看護の魅力

日時：8月2日(土)・3日(日)

会場：兵庫県看護協会(兵庫県神
戸市)

※東京会場は10月開催予定

対象：新人訪問看護師、これから
訪問看護に携わりたい看護職員
在宅看護論を担当する看護教員等
ねらい：訪問看護制度等を理解し、
訪問看護過程の展開ができる／訪
問看護の実践から訪問看護を理解
し、訪問看護を始める意欲・自信
がもてる

プログラム：(1日目)「訪問看護
のあらましと訪問看護制度」等／
(2日目)「訪問看護の実践(演習
含む)」等

講師：佐藤美穂子(日本訪問看護
財団常務理事)・上野まり(同事業
部長・平原優美(日本訪問看護財
団立あすか山訪問看護ステーション
統括所長、訪問看護認定看護師
在宅看護専門看護師)

※会場により講師は異なる
受講料：(1日間)会員6000
円、非会員1万7000円

(2日間)会員1万円、非会員
3万円

2. 精神障がい者の在宅看護セミ

ナ

※精神科訪問看護基本療養費の届
出要件を満たす

日時：8月8日(金)・10日(日)

9時30分~18時

会場：アイテム愛媛(愛媛県松山
市)

対象：精神科訪問看護に従事する
看護職員、作業療法士等

ねらい：精神障がい者施策、精神
障がい者の病態と治療・集団療法、
援助技術を理解する／訪問看護体
制を整えて、精神障害者と家族へ
の看護が実践できる

プログラム：「精神保健の現状と
動向」／「精神科訪問看護の動向・
最新知識と制度活用」／「精神障が
い者への理解：精神疾患を理解す
る」／「精神科訪問看護の基礎」
／「利用者・家族を地域で支えるた
めの多職種連携」／「精神障がい者
の家族および介護者等への支援」
／「精神科訪問看護の実践①②」

受講料：会員2万円
非会員4万円

3. 質の高い在宅ケア実践のため
のELNEC-J2014

日時：9月6日(土)・7日(日)

会場：ラ・プラス青い森(青森県
青森市)

対象：訪問看護師およびエンド・
オブ・ライフケアに関心のある看
護師など
ねらい：がん患者だけでなく、高

齢者や非がん患者も含めてエン
ド・オブ・ライフケアを理解し、
症状マネジメントなどを行なう訪
問看護師の役割について学ぶこと
もに、チームケアの質を向上させ
る具体的方策について考える

プログラム：「エンド・オブ・ライ
フケアにおける看護・倫理的問題・
文化への配慮」／「痛みのマネ
ジメント」／「症状マネジメント」
／「コミュニケーション」／「喪
失・悲嘆・死別」／「臨死期のケア」
など、全10モジュール(演習・グ
ループワーク含む)

講師：桑田美代子(青梅慶友病院
看護介護開発室長、老人看護専門
看護師)・濱本千春(YMCA訪問
看護ステーション・ピース 所長、
がん看護専門看護師)・千葉恵子
(亀田総合病院緩和ケア専従、緩
和ケア認定看護師)・平原優美・平
野和恵(財団事業部認定看護師教
育課程専任教員、緩和ケア認定看
護師)

受講料：会員・非会員とも1万円
【以下共通】
申込方法：ホームページより
問 日本訪問看護財団研修部
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-18-2
日本看護協会ビル5F
☎03-5778-7005
FAX 03-5778-7009
✉http://www.jvnr.or.jp/

働衛生コンサルタント事務所所長、産業医)／「ころをみる」ころを支える」丸田俊彦(米国メイヨー・クリニック精神科名誉教授・岡山慶子(キャンサリボンズ副理事長)／「自分らしく」を支える『社会』で支える」中村清吉

2015年度

訪問看護認定看護師教育課程

受講者募集

出願期限 8月10日／
東京・愛知・兵庫

1. 兵庫県看護協会

出願期間：8月4日(月)～10月3日(金)17時必着
試験日：11月22日(土)・23日(日)
筆記試験および面接試験
検定料：5万円
学費：入学金・授業料として75万円

教育期間：2015年4月～2016年1月(10か月)
※原則週末の開講(実習期間中は月々金)

【入学説明会】

日時：8月2日(土)
申込期限：7月28日(月)
申込方法：ホームページより
兵庫看護協会資格認定教育部認定看護師教育課程係
〒650-0001
兵庫県神戸市中央区下山手通5-6-24
☎078-341-0190(代)

(昭和大学医学部乳腺外科教授、昭和大学病院プレストセンター長)
定員：100名(先着順)
参加費：各カリキュラム1万5000円(税抜、当日現金払い)
対象：看護師・薬剤師・管理栄養

☎078-361-6652
http://www.hna.or.jp/

2. 聖路加国際大学

出願期間：8月25日(月)～9月5日(金)消印有効
試験日時：2014年10月4日(土)筆記試験および面接試験
検定料：5万円
教育期間：2015年6月1日～2016年2月29日(9か月間)
※夏の共通科目と冬の実習以外は金・土曜日の週末開講
定員：30名
申込方法：詳細はホームページより

聖路加国際大学教育センター
生涯教育部
〒104-0045
東京都中央区明石町10-1
☎& ☎03-5550-2436
(直通)

✉ninte@slcn.ac.jp
http://rdnp.slc.ac.jp/ninte/

3. 愛知県看護協会

出願期間：10月14日(火)～10月31日(金)
試験日：11月16日(日)
検定料：5万円

士・MSWなど、在宅医療や産業保健に携わる人、病院の相談支援センタースタッフ・医療クラーク・事務スタッフ関連企業
申込方法：メールにて、件名「サポーター集中講座」とし、本文に①受講希望カリキュラム(ABも

教育期間：2015年5月～2016年3月(11か月)
※講義は金・土、実習は月々金曜日
定員：20名
学費：入学金5万円・授業料70万円

【入学説明会】

日時：8月23日(土) 14時～15時30分
会場：公益社団法人愛知県看護協会(愛知県名古屋市中区)
内容：教育課程の説明、修学生・受講生との交流、個別相談など
申込方法：ホームページの申込書を郵送またはFAX
申込期限：8月20日(水)

愛知県看護協会訪問看護認定看護師教育課程
〒466-0054
名古屋市中区昭和区上町26-18
☎052-871-0761
☎052-871-0757
✉http://www.aichi-kangokyo-kai.or.jp/

しくは両方、②氏名、③職種や立場、④所属、⑤受講票送付先住所(勤務先の場合は勤務先名・部署も)、⑥日中つながる電話番号、⑦メールアドレスを送付。
⑧キャンサリボンズ
〒104-0045
東京都中央区築地2-12-10 築地MFビル26号館5F
☎03-3546-6101
✉ribbonz@elnet.co.jp
http://www.ribbonz.jp/

ナースプラクティショナー

大分県立看護科学大学

第16回看護国際フォーラム

申込期限10月10日／大分

参加者募集

日時：10月25日(土) 12時30分～17時
会場：別府ビーコンプラザ国際会議場(大分県別府市)
テーマ：よりよい看護実践を目指す
したNP教育と研究
プログラム：米国のNPの活躍・実践と研究 ジェイムセッタ・A・ニューランド(米国ニューヨーク大学校看護大学臨床准教授、同大学ヘルスケアクリニックナースプラクティショナー)／「韓国のNP教育の現状——臨床実習に焦点をあてて」ジョン・ジェ・シム(韓国ウルサン大学校医科大学臨床看護学科臨床准教授、同大学高度実践看護師(NP)修士課程主任)／「日本におけるNP教育開発のプ

ロセスと現在」藤内美保(大分県立看護科学大学看護アセスメント学研究室教授)／「修士課程におけるNP教育修了生の活躍と成果——実践で見いだされた成果——小野美喜(大分県立看護科学大学成人・老年看護学研究室教授)／「日本の看護系大学大学院でNP教育をどのように進めるか」村嶋幸代(大分県立看護科学大学学理系・学長)／総会討論

参加費：一般2000円
学生500円

※同時通訳レシーバー1000円別途
定員：300名(先着順)
申込方法：メールまたは往復ハガキ(返信送付先記入)に所属と氏名、同時通訳用レシーバー使用の有無を明記して送付
第16回看護国際フォーラム事務局
〒870-1201
大分県大分市大字廻栖野2944-9 大分県立看護科学大学内
✉forum2014@ota-nhs.ac.jp